

第3次匠瑳市食育推進計画 数値目標の達成状況について

基本施策	項目	担当課	数値目標			令和4年度末数値の内訳	備考
			現状値 (令和3年度)	目標値 (令和8年度)	現状値 (令和4年度末)		
1 地産地消の推進	地元農水産物を意識して購入する市民の割合(※)	農林水産課	新設	80.0%	—		
	食生活において、「地元産や旬の食材を取り入れた料理をつくる」ことを実行している市民の割合(※)	農林水産課	31.0%	35.0%	—		
	給食施設での地元農水産物の利用促進	福祉課 学校教育課 市民病院	24品目/年	26品目/年	32品目/年	保育所 5品 給食センター 26品 市民病院 1品	米、味噌、ネギ、赤ピーマン、卵等
	家庭菜園や果物狩り等、農漁業に触れる市民の割合(※)	農林水産課	22.8%	40.0%	—		
2 家庭・地域における食育の推進	食育に興味を持っている市民の割合(「関心がある+どちらかといえば関心がある」)(※)	農林水産課 学校教育課 健康管理課	59.1%	90.0%	—		
	食べ残しや廃棄を減らす努力をしている市民の割合(※)	環境生活課 農林水産課	57.3%	80.0%	—		
3 学校等における食育の推進	農業体験や料理教室など、食育のテーマを取り入れた授業・学習	学校教育課 農林水産課	78回/年	80回/年	96回/年	学校教育課:小学校での調理実習40回 中学校での調理実習6回 給食時間指導(給食センター)50回	
4 食文化や郷土料理の伝承	郷土料理や地元農水産物を使った料理教室の開催	農林水産課 生涯学習課	12回/年	12回/年	2回/年	生涯学習課:親子休日チャレンジ「太巻寿司作り体験」	
	匠瑳市の郷土料理や特産品を「知っている」市民の割合(※)	農林水産課	各品31.5~61%	全ての品を40%以上にする	—		
	匠瑳市では、食の文化や伝統、季節性などを大事にしていると思う市民の割合(※)	農林水産課	36.4%	増加	—		
5 「食」と健康に関する知識の普及	自分の食事が栄養バランスに偏りがあると不安に思っている市民の割合(※)	農林水産課 健康管理課	38.2%	減少	—		
	食の安全性に不安を感じている市民の割合(「不安を感じている」+「多少は不安を感じている」)(※)	農林水産課	81.6%	減少	—		
	朝食で副菜を食べる人の割合(※)	農林水産課 学校教育課 健康管理課	49.3% (成人) 43.4% (小中学生)	50.0% (成人) 45.0% (小中学生)	—		
	ゆっくりよくかんで食べる市民の割合(※)	農林水産課 健康管理課	52.1%	55.0%	—		

【※印について】今後実施予定の市民意識調査(アンケート)における項目